

# 稲美町教育委員会議事録

1 開催日時 令和4年12月22日(木) 開会 15時00分  
閉会 16時31分

2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

## 日程第1 諸報告

- (1) 行事・経過報告について
- (2) 12月・1月の行事予定について

## 日程第2 協議

- (1) 令和4年度稲美町教育支援委員会の答申について

## 日程第3 その他

- (1) 11月分問題行動件数について
- (2) はたちのつどい(旧名称 成人式)について
- (3) 第268回稲美町定例会の一般質問の回答について
- (4) 令和5年度兵庫県市町村教育委員会連合会事業予定について

4 出席委員

教 育 長	北 谷 錦 也
委 員	後 藤 哲 夫
委 員	本 多 澄 子
委 員	高 田 道 夫
委 員	松 田 緑

5 出席職員

教育政策部長	沼 田 弘
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山 本 勝 也
学校教育担当課長	野 邊 久 美
管理担当課長	井 上 智 久
人権教育課長	瀧 口 泰 広
生涯学習課長	北 口 和 美

## 6 開 会

### 教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

会議の傍聴についてですが、会議の傍聴を希望する者が1名ありますが、許可することとしてよろしいか。お諮りします。

### 各委員

異議なし。

### 教育長

ありがとうございます。それでは、稲美町教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、許可することといたします。傍聴人は入室してください。

次は、議事録の承認です。11月の定例会議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

### 各委員

異議なし。

### 教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。本日は、松田緑委員にお願いします。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課 (報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

### 教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

### 高田委員

5ページの生涯学習課の行事報告のところで、第25回東播磨地区子ども会議についてご説明がなかったのですが、子ども会議というあまり聞きなれないが魅力的な催しだったのかなと思い、内容は大中遺跡の古代人の生活を体験ということですが、子ども会議にどんな子ども達が参加したのか興味があって、例えば、小学校から各1名とか、希望者を募ってやったのか、参加者の子ども達

がどんな形で参加したのか教えていただきたいと思います。

北口課長

12/3に開催された子ども会議ですが、東播磨地区の子ども会に加入されている方を対象に募集されて、稲美町からは十数人が参加されています。今年は播磨町が当番地区になっており、大中遺跡の古代人の生活を体験ということで火起こしなどを東播磨地区の子ども達が集まってしております。ちなみに、昨年は稲美町が開催地になっていたのですが、凧作りということで講師の先生をお招きして、体育センターにおいて凧の絵柄を描いて作りました。コロナ禍ということもあって、時間制限がありましたので、揚げるまではいかなかったのですが、そういったことを子ども達に体験してもらうということで、東播磨地区において開催されている会議です。

教育長

東播磨地区の子ども会に参加されている子ども達を中心に、年に一回体験活動を通じて交流を行っている会合ですね。

他いかがでしょうか。

後藤委員

2ページの教育課、1/13グローバル意識UP研修で、今回IB(国際バカロレア)についてということ、小中学校の教育と国際バカロレアとどういう繋がりがあるのか教えていただきたいと思います。

野邊課長

IBという国際基準の教育の制度があるという、新しい視点を兵庫教育大学の川崎先生から教えていただくことで、先生方に視野を広げていただく予定としております。内容については、機会があればご報告させていただきたいと思います。

松田委員

2ページの教育課の12/6幼稚園教職員向け外国語活動研修について、お伺いしたいのですが、稲美町にお住いの外国人の方も少しずつ増えてきたのかなと思うのですが、幼稚園の先生方も英語研修を受けられたのでしょうか。年間どれぐらいのペースで、何回されるのか教えていただけますか。

野邊課長

幼稚園では、ALTの先生に月2回で外国語活動体験を行っております。その中で、幼稚園の先生がどうしても英語となるとハードルが高いと感じているところがありますので、今回は英語のスキルアップ研修ではなく、幼稚園の先生だからこそ、一緒に子ども達と楽しく外国語活動の体験をしてみよう、先生たちの声かけが大事なんです、先生たちが楽しむことが大事なんです、というような視点で、ALTを派遣しておりますインタラック株式会社から講師を派遣しての研修です。この研修は初めて行いました。先生方からは、「初めはとても緊張していたのですが、子ども達と楽しんでやるのが大事なんだということが改めてわかりました。」という感想をいただいております。また第2回目も計画していきたいと考えています。

教育長

次は、日程第2、協議事項(1)「令和4年度稲美町教育支援委員会の答申について」を事務局から説明願います。

野邊課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

ここに知的学級入学が適切とか、自・情学級入学が適切とか審議結果が書いてあるのですが、私が教えていただきたいと思ったのは、先生方が判断された結果だと思うのですが、保護者とか本人たちの意向というのを踏まえてこの審議結果になったのか、審議結果としてこちらがいいですよと指導していくのか、順番というか経路を教えていただきたいと思います。

野邊課長

教育支援委員会の審議にかけるかどうかというところから、学校園と保護者の方で話し合いを行っております。そして、医療機関を受診してその結果の資料、園や学校での様子の記録等に、保護者からの意見も踏まえまして、この会で諮っております。

本多委員

例えばですが、途中やっぱり通常だと無理だったとか、教室に戻るということは可能なのでしょうか。

野邊課長

制度としては可能です。

学びの場の選択や変更については、子ども一人一人の発達の程度や適応の状況、学習の習得状況や支援の内容などを随時確認しながら、本人、保護者、担任、特別支援コーディネーターを含めて慎重に検討をしています。通常学級に在籍している児童生徒が体験的に特別支援学級で学習してみる等、段階を踏まえながら進めています。

教育長

つい最近の報道で、ここ数年で特別支援学校の在籍者が1.75倍になった、急激に増加していることになったのですが、特別支援学級の入級も含めて、稲美町の状況も増えているのでしょうか。

野邊課長

今、何倍増ですというのは申し上げにくいのですが、やはり入級を希望される方は増えてきているように感じます。地域の学校で子どもを育てていきたいという保護者の願いも、高まっておりますので、そのお気持ちにそえるような形で、この支援委員会の方では審議をしているという状況です。

教育長

人数が増えてくると、新しい学級の設置であるとか、通常学級と定員が違いますよね。そういう新設とか増設とかいうのは、簡単に出来るものなのでしょうか。

野邊課長

特別支援学級は8名という定員が決まっておりますので、そこを超えますと学級増ということで、増設は見込まれていくかなと思います。

松田委員

特別支援学級の定員は1クラス8名ということで、それに対しての先生の数は1名なののでしょうか。

野邊課長

担任は1名ですが、町の方で指導補助員等をつけるということで、きめ細やかな対応の方を心がけております。

教育長

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、協議事項を終わります。

次は、日程第3、その他(1)「11月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

野邊課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

15ページの中学校の不登校について、42名ということで、20名という時が一番低かった時だと思うのですが、それと比べると倍増ということで、全国的にも増えているというのはいわれていることですし、稲美町では増えている要因というの、指摘できるようなことはありますでしょうか。

瀧口課長

昔と今と比べると違うところはないと思うのですが、なかなか登校しにくいという状況がどのクラスにも増えてきています。特徴的なものは過去と今とで違いはないと思います。コロナの事もありますし、学習面のこともあるのですが、学校の先生方と保護者の方と関係性を密に取りながら、なんとか防ぐような形でしていただいていると思うのですが、42名という数字は減りませんので、なんとかここでとどめたいと思います。こちらからも呼びかけて、数字を減らしていきたいと思います。

教育長

学習支援の取組について、どのようになっているか教えていただけますか。

瀧口課長

GIGA スクールでタブレットを1人1台端末貸与しています。その端末を利用して今両中学校の校内適応指導教室で、教室には入れないのだけど、ふれあいルームの画面を通して、授業を受ける取組が、中学校の方で実践されています。適応指導教室に来ている子については、学校とのやりとりでテストは受けるということもありますし、もちろん全然来てない子についても、テストだけでも来て受けるという取組をして、学習保障に努めているところです。

教育長

先日、コロナに係る学級閉鎖の時に、中学校の授業配信を見せていただいたのですが、今クラス40名おります、どの子が開いて授業を見ているか、配信側の学校はちゃんと把握できるようにしているのでしょうか。

野邊課長

把握できます。何名かということもわかります。

教育長

次は、(2)「はたちのつどい（旧名称 成人式）について」及び(3)「第268回稲美町定例会の一般質問の回答について」を事務局から説明願います。

山本部長 （説明内容省略）

沼田部長 （説明内容省略）

山本部長 （説明内容省略）

教育長

これらのことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

生涯学習課から報告がありました、スケートボードパークを作ったらどうかという難しい問題、ものすごいコンクリートあるいは鉄板を使った高額な費用をどこにいったい作るのか、誰がお金を出すのかということで、普通に考えたらなかなか稲美町ではできないなと私も思います。たまたま4月にスケートボードの団体を立ち上げたいという青年たちが加古大池公園を訪ねてきて、景気づけに管理棟の前のロータリーにベニヤ板でできたパネルを100枚ほど持ち込み、デモンストレーションをするという企画を持って来ました。私も初めてのことで、産業課を通じて、開催の許可を取り付けたのです。結果として、その日は大雨で全く何もできず中止になってしまって、残念だったのですが、ものすごく費用がかかるスケートボードパークを研究することも大事ですが、それよりも前に、パネルで坂を作ったり、カーブを作ったり、どれぐらいの費用になるか、当然無料で出すのか、考えないといけないですが、施設の研究をするのも大事ですが、その前に手軽に何か初心者が楽しめるものを考えられたらなと思ひまして、提案させていただきます。

山本部長

スケートボード関連につきましては、三木市で見学させていただきました。場所の設定、音がする、ゴミが出る、三木市の方でも平成17年ぐらいにスケートボードパークを作って、拡張というか費用については、スポーツ振興部補助を50%活用して行っている、姫路とか神戸とかでもあろうと思うのですが、そういった本格的なところも見て、おっしゃられるように初心者がケガなく楽しめるように、稲美町ではどういったことが適正なのか検討しまして、まだまだ時間はかかると思いますが、町内に設置できないか検討して参りたいと思います。安全が1番ですので、ルール作りをして、場所はどうか、費用はどうか、ルール、必ずヘルメットを被る、夜間のナイター設備無しで、昼間だけの利用で、周辺の方の理解が得られる場所等、いろいろ課題は多いですけども、これから検討して参りたいと思います。

高田委員

一旦作ってしまえば、それが使ってもらえないとしたら、誰がこれを作ったんだ、という事になります。

山本部長

三木市の場合は、一旦盛り上がりがあったのですが、少し使っていない時期があって、また再燃したという事で、整備を始めたという事です。いろいろ検討して参りたいと思います。

本多委員

不登校に関する質問の回答のところで、ふれあい教室、適応指導教室の人員の増員とありますが、カウンセラーの方ですか、それとも教職員の方の増員でしょうか。

沼田部長

教職員経験者です。1名増やす予定で調整しているところです。

教育長

今担当者1名でやっておりますが、その人員を増やすことと、それから事務局としては、さらに充実させていきたいなということで、臨床心理士とかカウンセラーの資格を持った人もいづれはと思っておりますが、まだそれは具体的な計画にはなっておりません。

はたちのつどいについて、昨年せっかく参加していただいたのに、非常に残念な思いをさせてしまったという反省もありまして、お聞きしたいのですが、稲美町在住の二十歳を迎える皆さんの中には、町内の中学校の卒業生でない方もいらっしゃいます。その方の参加状の受付とか、記念写真の座席とかどのようなようになるのでしょうか。

山本部長

はたちのつどいですが、稲美中学校、稲美北中学校、それ以外の中学校に通われている方もいらっしゃいまして、受付につきましては、稲美中学校卒業生、稲美北中学校卒業生、稲美中学校北中学校以外の中学校を卒業された方ということで、わかるように明記をさせていただいて、そこで受付をさせていただきます。写真撮影ですが、実行委員会とも調整いたしまして、稲美中学校5組ありまして、稲美北中学校4組で、稲中5組の方と稲中北中以外の卒業生の方と一緒に写真を撮っていただきたいということで、封筒にもそれを明示しております。今年は不手際で残念な思いをさせないように配慮させていただきたいと思います。

教育長

非常に人数が少なくて、心細い不安な思いをされていると思うので、せっかく参加していただいたのですから、そういう思いをしないように配慮の方お願いしたいと思います。

それからもう一点、昨年参加者の中からコロナに感染した方が多くいらっしゃって、事務局の方でもその後体調確認で連絡していただいて、大変だったのですが、今年の感染対策はどのようにされているか教えてください。

山本部長

新型コロナウイルス感染症対策で基本的なことになるのですが、マスクの着用をお願いする、二つ目、受付で体温測定をさせていただき、そしてその時に体調不良の方はご遠慮いただく、三つ目、コスモホールの主に1階がはたちのつどいに出られる本人様方なのですが、1階は500席ございますので、2階の方には保護者の方に入っていただこうと思います。347名対象で約280名の出席で、例年だいたい80%の出席です。下の500席を利用して、お一人ずつ席を空けながら座っていただきます。

成人式が終わった後に、一同に集まれて、長時間会合を持たれて、二次会、三次会、四次会まで集まられることがあります。皆さん久しぶりにお会いするのはわかるんですけども、できるだけ少人数で、新型コロナウイルス感染症に気をつけていただいて、楽しんでいただきたいと受付でお願いをしようと思います。

教育長

式の前後のことも気になりますが、できるだけ参加者の皆さんに理解をして協力していただけるように、啓発の方もお願いします。

他いかがでしょうか。

次は、(4) 令和5年度兵庫県市町村教育委員会連合会事業予定について」を事務局から説明願います。

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

他に、全体を通して、何かご意見はございませんか。

以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、1月26日(木)ですので、よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本年も1年間、みなさまの尽力により教育行政をすすめることができました。ありがとうございました。来年(2023年)もよろしく願いいたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。